

2024 年度 第 1 回 理窓博士会幹事会 議事録案

日時：2024 年 5 月 19 日(日) 17:00 ～ 17:40

場所：神楽坂キャンパス 1 号館 124 教室および Zoom によるハイブリッド開催

出席者：(対面) 秋山・瀬尾・佐竹・石垣・永田・高橋・吉田・秦野・海野

(オンライン) 矢部・鈴木・松田・安藤・山本・土屋・前澤・安田・川崎・森・八木
戸端・新井 (順不同敬称略)

共有資料

2024 年度第 1 回理窓博士会幹事会_議題案

資料 1：理窓博士会役員リスト

資料 2：2023 年度 理窓博士会 決算書

資料 3：2024 年度 理窓博士会 収支予算書

資料 4：第 18 回学術奨励賞審議資料

資料 5：第 62 回 学位(博士)新取得者記念講演会のご案内

資料 6：令和 6 年度（2024 年度）理窓博士会 学術賞候補者推薦のお願い_配布版

資料 7：令和 6 年度（2024 年度）理窓博士会 特別功労賞候補者推薦のお願い_配布版

0. 秋山会長からご挨拶があった。また、新たに幹事会に加わったメンバーの内、本日参加された海野先生、戸端先生、新井先生よりご挨拶があった。

1. 2023 年度決算報告と 2024 年度の予算案について

瀬尾幹事より、2023 年度決算報告(資料 2)と 2024 年度の予算案(資料 3)について説明があり、いずれも承認された。また、本内容について今後、監査役である矢部先生に監査をしていただくとのこと。なお、2023 年度は大幅な赤字決算となったとの説明があった。Peatix による支払いがその一因ではないかということ、2024 年度は振込用紙と Peatix の併用を検討する案が出された。

2. 2023 年度第 18 回学術奨励賞について

2023 年度（第 61 回学位新取得者記念講演会）第 18 回学術奨励賞について、吉田幹事より資料 4 に基づいて説明があった。審査対象となった 7 名の講演者の内、平均点の上位 4 名の方の受賞について承認された。今後、吉田幹事より、受賞候補者にコンタクトしていただくこととなった。

3. 学位新取得者について

永田幹事より、2023 年度中に学位(博士)を取得された新取得者は 66 名、及び、同窓で他大学で学位を取られたことが新たに判明した方が 1 名であるとの報告があった。幹事関係者で他大学で学位を取られた方の情報をお持ちの方は、永田幹事まで連絡してほしいとの依頼があった。

4. 2024 年度祝賀会・記念講演会の実施について

- ・ 2024 年度の理窓博士会・記念講演会は 9 月 28 日（土）に、対面を原則とした一部 Zoom によるハイブリッド開催とする方向で進めることとなった。会場は神楽坂キャンパス 1 号館 17 階講堂とし、すでに予約済みであるとのこと。
- ・ 2024 年度の理窓博士会・記念祝賀会は 9 月 28 日（土）の記念講演会終了後に、対面で開催することとした。なお、会場には 1 号館 17 階会議室を利用することとした。
- ・ 新取得者の参加登録や講演申し込みは Microsoft Forms を用いることとした。また、DR 会員の参加申し込みも Microsoft Forms を用いることとし、会費・記念品代・祝賀会費などの支払い方法は

郵便振り込み用紙の郵送と Peatix を併用することとした。また、Peatix のチケット構成は、会費・記念品代・祝賀会費などを個別に購入いただくのではなく、パッケージ化するなどして、一人1チケットとなる構成を検討することとした。

- ・ 案内の郵送は、6月末か7月初め頃を目標に発送することとし、新取得者からの回答期限は8月1日、DR 会会員からの回答期限は8月28日とすることとした。なお、本発送時期で進めるにあたっては、6月中旬までに発送原稿の準備が必要であるとの説明があった。また、案内文の詳細については、上記方針にのっとり内容とすることとし、委細は担当者に一任することとした。

5. 学術賞・功労賞について

選考委員会委員長の矢部先生から資料5および6に基づいて学術賞および特別功労賞の方針や候補者推薦のお願いについて説明があった。また、推薦依頼文の概要等について承認が得られ、詳細については矢部幹事に一任し、進めていただくこととなった。

6. 特別講演の講演候補者について

秋山会長より、特別講演の講演候補者については学術賞・功労賞受賞者に限定することなく、広く候補者の選定を進める方針が示された。

以上